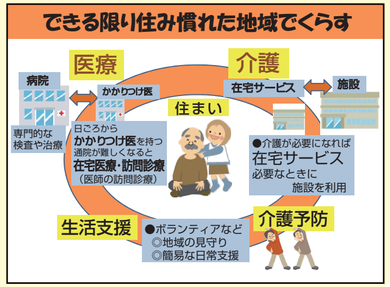
できる限り住み慣れた地域で暮らすために

介護が必要になっても、できる限り住み慣れた自宅や地域において、自分らしい暮らしを続けることができるよう、「医療」「介護」「予防」「生活支援」「住まい」が適切に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を推進します。

医療や介護などが安心して提供される体制をつくるとともに、一人ひとりが自分にあった暮らしの中で、生きがい・役割を見出し、地域のみなさんの助けあい、支えあいを積極的に進め、絆を深めていくことを推進します。



医療介護あんしんセンターとはどんなところ?

在宅医療や介護、地域における支援やサービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進する中核的な役割を担います。

宇陀市医療介護あんしんセンターの業務

医療介護あんしんセンターでは、「地域包括支援センター」の機能と「在宅医療・介護連携支援」の機能を一体的に行います。

地域包括支援センター ＋ 在宅医療・介護連携支援

- 介護予防ケアプラン作成（要支援1・2）
- 総合相談（在宅医療・介護等）
- 高齢者の権利を守る事業
- 地域ケア会議
- 認知症対策事業
- 在宅医療・介護関係者の連携・研修
- 在宅医療・介護の情報把握・発信
- 市民への普及啓発

宇陀市医療介護あんしんセンター

〒633-0204　宇陀市榛原福地28番地の1
電　話　0745－85－2500
IP電話　0745－88－9480
ファックス　0745－85－2501
★宇陀市立病院東隣（奈良県宇陀川浄化センター3階）

宇陀市が新たに始める
在宅医療・介護の連携拠点

宇陀市医療介護あんしんセンター

いつまでも　自分らしく
住み慣れた自宅や地域で暮らすために

ご相談ください!

宇 陀 市

宇陀市医療介護あんしんセンターのしごと

◯介護や健康のこと　～自立して生活できるよう支援します～

「指定介護予防支援事業」

要介護認定を受けて「要支援1」「要支援2」と判定された方に対し、できるだけ自立して生活することを目的とした「介護予防サービス」を利用するための「介護予防ケアプラン」を作成します。

「介護保険の利用について」

本人や家族が要介護認定の申請に行くことができない場合などには、手続きを代行します。

「介護予防について」

介護予防に関する情報の提供や講演会の開催、市で行う介護予防教室を紹介します。

◯さまざまな相談ごと　～なんでもご相談ください～

「介護」「健康」「医療」「福祉」「生活」に関するさまざまな心配ごとに対応します。高齢者本人や家族の方からの相談はもちろん、近隣に暮らす高齢者の方に対する相談を受け、適切な機関につないだり、その後も必要な方にはサポートをしていきます。

◯高齢者の権利を守ること　～尊厳あるくらしを支援します～

「高齢者虐待について」

高齢者の虐待があると思われた時は「市役所」や「医療介護あんしんセンター」に連絡してください。通報者の個人情報の保護や不利益な扱いを受けないことが法律で定められています。
緊急の場合には、必要に応じて老人保健施設等への入所など、他の機関と連携して高齢者を守ります。

「介護は一人で抱え込まないで!」

高齢者虐待の原因のひとつには、「介護者の心身の疲労」があります。無理をせず様々な制度やサービスを上手に利用していきましょう。困ったときには、医療介護あんしんセンターにご相談ください。

「悪質な訪問販売など」

消費者センターなどと協力して、高齢者の被害を未然に防ぎます。

◯認知症について　～認知症の予防と地域の支援を進めます～

「認知症ケアパス」

認知症の進行状況に応じた適切なサービス提供の流れをまとめた「認知症ケアパス」を作成し、周知・活用を図ります。
さらに、認知症ケアパスに記載されている社会資源等は、定期的に情報収集を行い随時更新します。

「認知症の予防・早期対応の推進」

早期の相談や受診の必要性を周知し、認知症予防を推進します。また、早期診断・早期対応できる支援体制づくりに取り組みます。

「認知症の正しい理解～普及啓発」

「認知症講演会」や「認知症サポーター（地域等において認知症の人や家族を支援する）養成講座」を開催します。

宇陀市医療介護あんしんセンターでは、
主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが中心になって、高齢者の支援を行います。

◯地域ケア会議　～みんなで支えあう地域づくり～

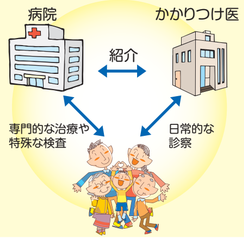
「地域ケア会議とは?」

「地域ケア会議とは」介護や医療の専門職、民生児童委員さん、地域の人たちが集まって、個別の相談や地域の課題について話し合います。
高齢者を地域みんなで支えられるよう話し合います。

◯在宅医療・介護関係者の連携　～安心してサービスが受けられる～

「在宅医療と介護の連携強化」

安心して在宅医療や介護サービスが提供される体制をつくるため、地域の医療機関・ケアマネジャー等介護関係者等が参加する会議を開催します。



◯情報の把握と発信　～わかりやすい情報を届けます～

「医療と介護のガイドブック」

市民が利用できる地域の医療や介護サービスのマップやその内容について「医療と介護のガイドブック」を作成しました。
宇陀市のホームページでも閲覧することができます。http://www.city.uda.nara.jp

◯在宅医療・介護の啓発　～市民の皆さんに考えていただくために～

「講演会・シンポジウムの開催」

在宅医療や介護サービス等についての情報をパンフレットやチラシ、広報などでお知らせします。
また、講演会やシンポジウムを開催し、地域での見守り等市民の皆さんとともに考える機会をつくります。